

施策番号	1234		
施策名	精神保健・医療・福祉サービスを支える体制の整備		
概要	市民のこころの健康の保持増進を図るとともに、精神障害の予防や治療、精神保健福祉体制を整備する。		
担当局	保健福祉局	共管局	なし
上位政策	123 心身ともに健やかにくらす		

施策の評価

1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 居宅介護の延べ利用時間数（時間）	a	a	1,000,235	1,034,026.5	1,000,235	103.4%	a
2 精神科救急医療システム相談件数（件）	b	a	1,981	2,528	1,981	127.6%	a
3 地域精神保健福祉活動の活動件数（件）	-	d	37,462	35,032	40,718	86.0%	e
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	a	b	客観指標総合評価				b

2 市民生活実感評価

設問	精神に障害のある人への保健、医療、福祉サービスが充実している。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	19	4.1%	23	5.0%	18	4.2%
b: どちらかというと思う	61	13.2%	64	13.8%	52	12.2%
c: どちらとも言えない	186	40.3%	197	42.5%	196	46.0%
d: どちらかというと思わない	117	25.4%	117	25.3%	106	24.9%
e: そう思わない	78	16.9%	62	13.4%	54	12.7%
有効回答数	461		463		426	
市民生活実感評価	d		c		c	



* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	a	b	b
市民生活実感評価	d	c	c
総合評価	B	B	B
重み付け		(理由)	
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	<input type="checkbox"/> 市民の実感	この施策は対象となる市民が限定されていることから、実績が市民の生活実感に反映されにくいことを勘案し、客観指標総合評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性

居宅介護の延べ利用時間数及び精神科救急医療システム相談件数については、昨年に引き続き目標値を達成しているが、地域精神保健福祉活動の活動件数については、2年連続で活動件数が減少している。地域精神保健福祉活動の利用者と居宅介護及び精神科救急医療システムの利用者については、対象者が重なることも多く相互に関係していることも考えられることから、一方の利用件数の増減が他方の利用件数の増減にどのような影響を与えているのか等、今後分析する必要がある。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
	1 精神科救急医療システム	116,730	116,735	現状のまま継続等	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
	2 地域精神保健福祉対策	449,231	444,958	現状のまま継続等	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
	3 精神病院実地指導・実地審査	12,149	12,146	現状のまま継続等	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
	4 こころの健康増進センター管理運営 [センター事業]	56,948	56,355	現状のまま継続等	保健福祉局こころの健康増進センター
	5 こころの健康増進センター管理運営 [デイ・ケア事業]	59,687	59,579	現状のまま継続等	保健福祉局こころの健康増進センター
	6 精神医療対策	89,560	83,125	現状のまま継続等	保健福祉局こころの健康増進センター
	7 京都市精神医療審査会	57,550	53,754	効率化等による見直し	保健福祉局こころの健康増進センター
(従)	8 こころのふれあい交流サロン	29,135	38,088	充実	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
(従)	9 社会適応訓練事業	50,366	45,825	現状のまま継続等	保健福祉局こころの健康増進センター
(従)	10 精神障害者退院促進支援事業	15,019	15,019	現状のまま継続等	保健福祉局こころの健康増進センター
合計		936,375	925,584		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		841,855 (94,520)	826,652 (98,932)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1234	精神保健・医療・福祉サービスを支える体制の整備
-----	------	-------------------------

指標名	居宅介護の延べ利用時間数（時間）
-----	------------------

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明
 身体障害者、知的障害者、精神障害者及び児童の居宅支援のうち、居宅介護等の利用時間数の合計

2 指標の意味
 障害のあるひとの在宅での生活を支えるサービスの利用量を示す指標

3 算出方法・出典等
 居宅介護に係る支援費支給時間数の合計（17年度まで、身体、知的、児童）
 居宅介護等に係る利用時間数の合計（18年度から、精神含む。）
 出典：障害者支援費利用月別統計表

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	1,000,235	1,034,026.5	33,791.5時間増	1,000,235	過去3年間の最高値	103.4%

数値	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

備考
 障害者自立支援法の施行に伴い、居宅介護は3障害一本化された。

5 評価基準
 最新の数値が
 a：過去3年間の最高値以上
 b：過去3年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
 c：過去3年間の上中間と平均値の間
 d：過去3年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
 e：過去3年間の下中間以下

6 基準説明
 利用時間数は年度によりある程度変動することがあることから、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去3年間の数値をもとに基準を設定した。なお、平成15年度から支援費制度が開始されたため、3年間とする。
 最高値 1,000,235 時間（平成17年度）
 平均値 782,386.5 時間
 最低値 526,623.5 時間（平成15年度）

7 評価結果

17	18	19
a	a	a

指標名	精神科救急医療システム相談件数（件）
-----	--------------------

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明
 緊急に精神科の医療の提供を求めるひとの救急受診の相談等を受けた年間件数

2 指標の意味
 緊急に精神科の医療の提供を求めるひとに対する支援の量を示す指標

3 算出方法・出典等
 精神科救急情報センターにおける相談件数の集計値

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	1,981	2,528	547件増	1,981	過去4年間の最高値	127.6%

数値	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

備考
 -

5 評価基準
 最新の数値が
 a：過去4年間の最高値以上
 b：過去4年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
 c：過去4年間の上中間と平均値の間
 d：過去4年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
 e：過去4年間の下中間以下

6 基準説明
 利用時間数は年度によりある程度変動することがあることから、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去4年間の数値をもとに基準を設定した。
 最高値1,981時間（平成17年度）
 平均値1,539時間
 最低値1,067時間（平成14年度）

7 評価結果

17	18	19
b	a	a

施策名	1234	精神保健・医療・福祉サービスを支える体制の整備
-----	------	-------------------------

指標名	地域精神保健福祉活動の活動件数（件）
-----	--------------------

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明
 地域精神保健福祉活動における精神保健福祉相談，訪問指導，社会復帰相談指導の年間活動件数

2 指標の意味
 精神保健福祉に関する相談や社会復帰を促す活動の場を求めるひとに対する支援の量を示す指標

3 算出方法・出典等
 各保健所・支所における精神保健福祉相談，訪問指導，社会復帰相談指導件数の集計値

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	37,462	35,032	2,430件減	40,718	過去5年間の最高値	86.0%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

5 評価基準
 最新の数値が
 a：過去5年間の最高値以上
 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
 c：過去5年間の上中間と平均値の間
 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
 e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明
 利用時間数は年度によりある程度変動することがあることから，一定安定的な数字と比較する必要があるため，過去5年間の数値をもとに基準を設定した。
 最高値40,718時間（平成16年度）
 平均値38,096時間
 最低値36,450時間（平成15年度）

7 評価結果

17	18	19
-	d	e